

## 「140 円のパスポート」

「今、140 円で買えるものは何ですか？」

そう聞かれたら、何を思い浮かべるでしょうか。コンビニのレジ横にあるお菓子や、自動販売機の小さな飲み物。あるいは、ハピライン福井なら 1、2 駅まで行ける（ただし、子ども料金）程度の金額です。

けれども、手のひらに乗ったわずか 140 円の小銭には、地球の裏側まで届く「移動の秘密」が隠されています。

昨年末、ルクセンブルクの友人から届いたクリスマスカードの返礼を送るために近所の郵便局へ向かいました。今、ここから逆ルートを辿って自分の封書が旅を始める。わくわくしました。郵送料を尋ねると

「140 円です。」

とのこと。耳を疑いましたが、万国郵便連合の取り決めにより、25g までの定形郵便なら、欧州へはわずか 140 円で送れることを知りました。ガソリン代なら約 10 数 km、電車なら隣駅まで（ただし、子どもなら）。そんな程度の移動しかできない 140 円という小銭が、国際郵便という世界規模のバトンリレーに乗った瞬間、多くの人たちの手を経て 1 万 km 近い国境や海を越えていくのです。

年が明けて 1 月 10 日、友人から「手紙が届いたよ！」と SNS で連絡がありました。一瞬でつながる DX の時代に、あえて切手代を払い時間をかけて「紙」で気持ちを伝え合い、そして、届いた瞬間に SNS で喜びを共有する私たち。

140 円が最も安くて贅沢なパスポートにもなることを知り、そして、キャッシュレスの現代にお金の価値を考え直した出来事でした。

